

刈谷市の人口動態の変化

○ 刈谷市民の声



各年4	月1	日
-----	----	---

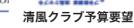
	2016年	2024年	増減
21~25歳	9415人	9928人	+513人
18~20歳	5097人	4721人	-376人
15~17歳	4715人	4297人	-418人
12~14歳	4389人	4387人	-2人
6~11歳	8400人	8706人	+306人
3~ 5歳	4552人	3859人	-693人
0~ 2歳	4808人	3878人	-1021人
合計	41376人	39776人	-1600人
止まらない	何谷市の少子	<u> </u>	

20|6年と2024年の人口動態を見ると0~2歳の人数を比較すると|02| 人、3~5歳は693人減少しています。幸い6~11歳は306人増加していま す。これは市内の新しい住宅がファミミリー層に売れているからです。0~25歳 は大学・大学院生卒がトヨタ系企業に就職するので5 | 3 人増加しています。全体 では1600人の減少です。なかなか少子化を底打ちさせることが出来ません。そ の為には子育て、子育て・教育政策の充実が必要です。「給付型の奨学金」「子育て 世代の固定資産税、都市計画税の減免」「交通児童遊園のフリーパスの配布」等を 行い子育てのしやすい刈谷市にしなければなりません。刈谷城建設より子ども達の 為に税金の再配分を!

でつくろう!刈谷の未来・子どもの未来







南海トラフ巨大地震被害予想

- 建物の全壊・焼失 235万戸 避難者数 1230万人 ●全体 死者数 29万8000人 経済的損失 約270兆3000億円
- ●愛知県死者数 19000人 建物の全壊・焼失 40万1000棟 避難者数 265万1000人
- ●刈谷市被害想定 死者数 約400人 建物の全壊及び焼失棟数約10000棟
- ●災害に強い防災ラジオの普及数 約6700台(令和7年2月1日)
- ※大きな震災では通信回線は衛生通信以外は遮断されます。ケーブル TV の FM の電波は災害に強いので防災 ラジオは大切です。全世帯に防災ラジオ(企業広告入り)の無償配布を要望しています。
- ●刈谷市の小中学校は都市ガスとプロパンガスの併用方式でガス取り出し口を備えた災害用バルクタンク(プ) ロパンガス)を設置しています。災害時にはタンク内のガスを使用できるように各学校にある防災備蓄倉庫に 炊き出し用のコンロなどの器具を備えています。

※震災時に都市ガスは止まりますが震災に強いプロパンガスは単体で稼働出来ます。刈谷市内のプロパンガス の世帯普及率は46.1%です。(平成31年時点) 民間のバルクタンクを災害用に改良する補助金を要望して います。西部市民館は災害用バルクタンクを設置しています。その他の市民館にも災害用バルクタンクの設置 を要望しています。その他にモバイルソーラーパネル購入補助金を要望しています。

ジェネリック医薬品に係る特別の料金

令和6年10月から、ジェネリック医薬品がある薬について、先発医薬品を処方・ 調剤する医療上の必要がないにも関わらず先発医薬品の処方を希望される場合は、 **先発医薬品とジェネリック医薬品の薬価の差額の4分の1相当が、特別の料金とし** て医療保険の窓口での一部負担金に加算されることになりましたが3年以上ジェネ リック薬品の不足が続いています。生産企業に対して相次ぐ行政指導や必要な薬の 薬価が低いので生産が上がらないない状態です。国は医療費を下げたいから薬価を 下げるますが、そうするとジェネリック薬品の牛産が上がらないという悪循環が起 こっています。

●公共施設の水光熱費の推移が増大しています。

施設名	令和元年度	令和5年度	伸び率
総合文化センター	59,365,950 円	80,288,074 円	135. 2%
ウィングアリーナ	57,719,554 円	72,342,625 円	125. 3%
交通児童遊園	3,768,851 円	4,463,281 円	118. 4%
美術館	13,533,803 円	17,472,918 円	129. 1%
小学校	68,128,478 円	110,944,585 円	162. 8%
中学校	3 8,046,553 円	59,049,270 円	155. 2%









